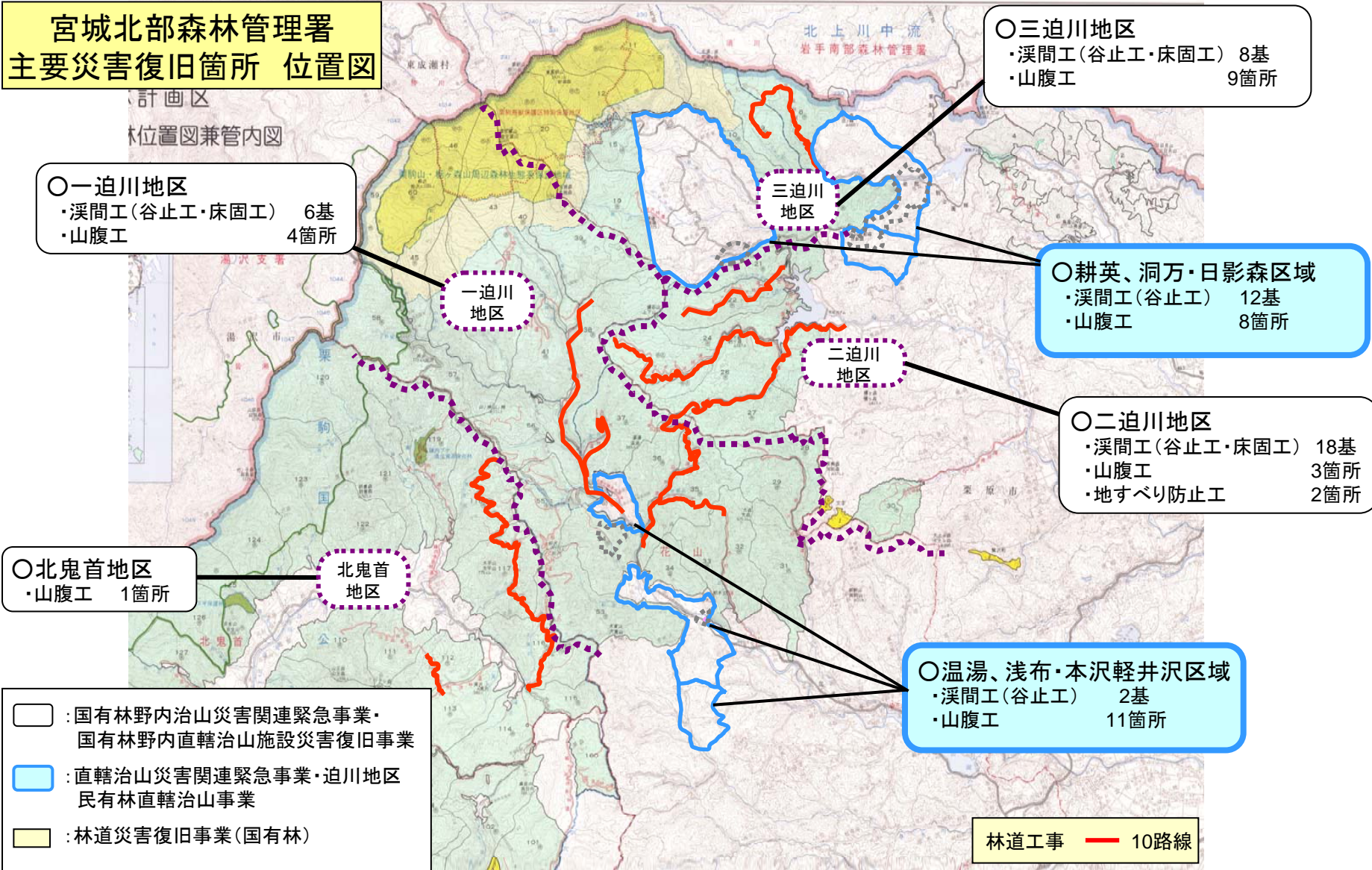
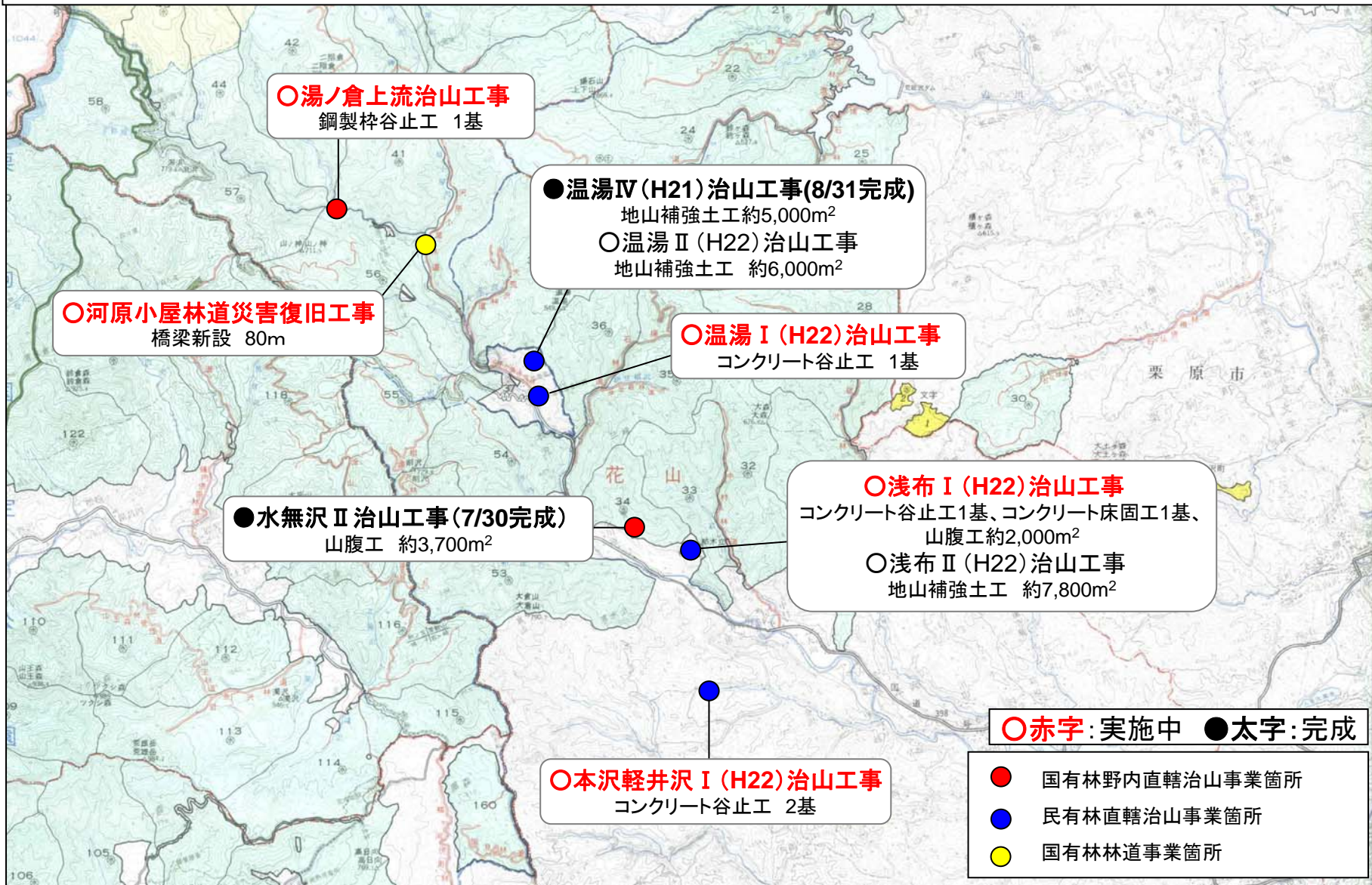


平成21年度末までに国有林治山事業で溪間工32基、山腹工17箇所、民有林直轄治山事業で溪間工14基、山腹工19箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。

宮城北部森林管理署 主要災害復旧箇所 位置図



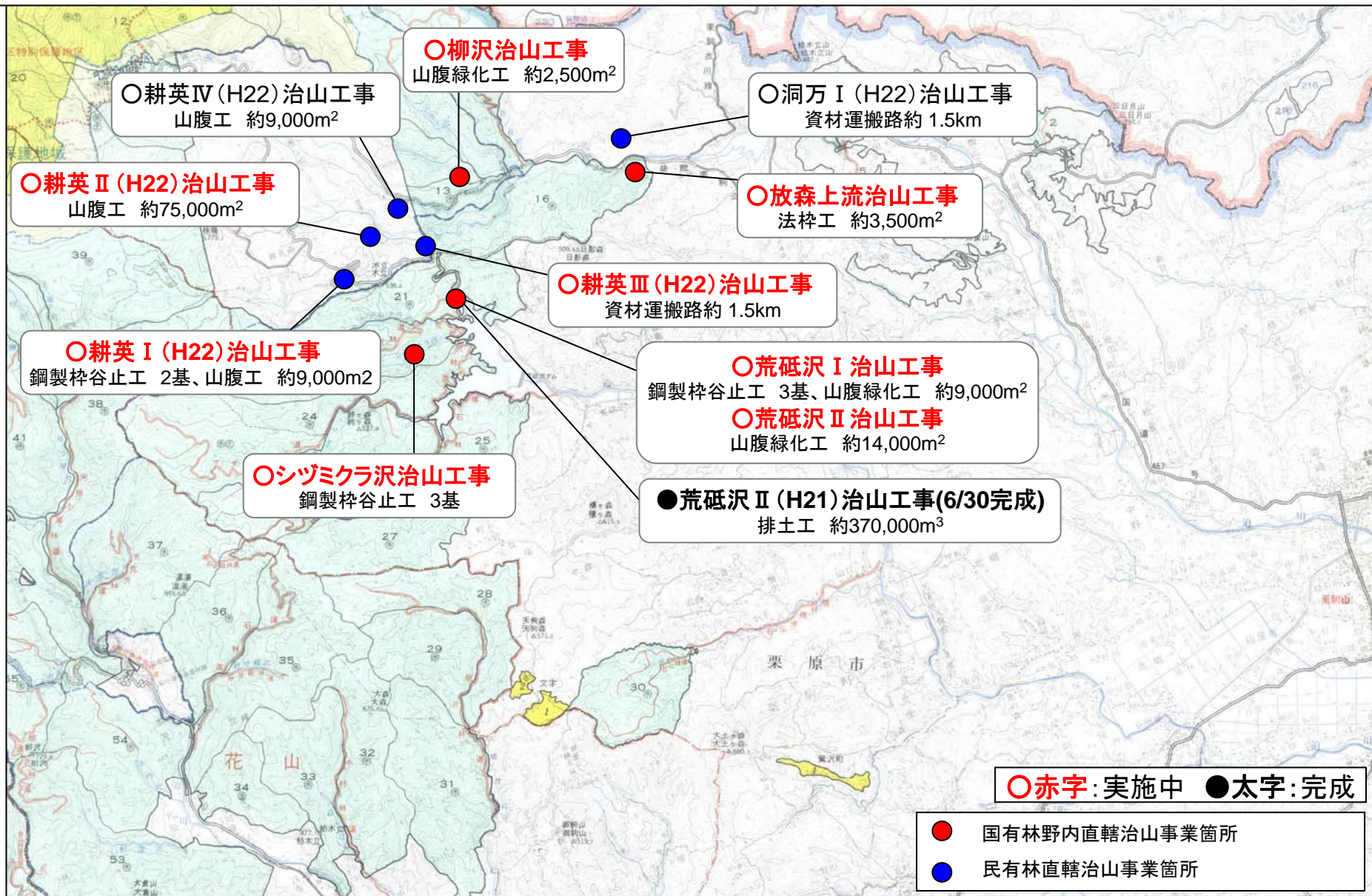
平成22年度は、一迫川地区において、国有林治山事業で溪間工1基、山腹工1箇所、民有林直轄治山事業で溪間工5基、山腹工4箇所、国有林林道事業で林道1路線を整備します。



宮城県内の対策概況③(東北森林管理局 宮城北部森林管理署)

平成22年10月1日現在

平成22年度は、二迫川地区、三迫川地区において、国有林治山事業で溪間工6基、山腹工3箇所、民有林直轄治山事業で溪間工4基、山腹工2箇所を整備します。



被災地の復旧状況(溪間工)

【工事概況】

三迫川地区のドゾウ沢で土石流の被害を防ぐために、駒ノ湯温泉跡の上流に谷止工を設置しました。



INSEM鋼製谷止工 平成21年10月完成



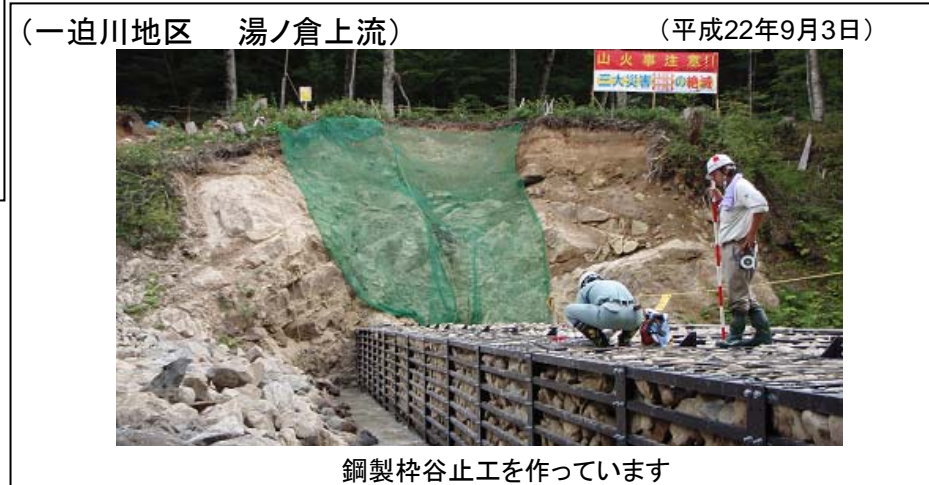
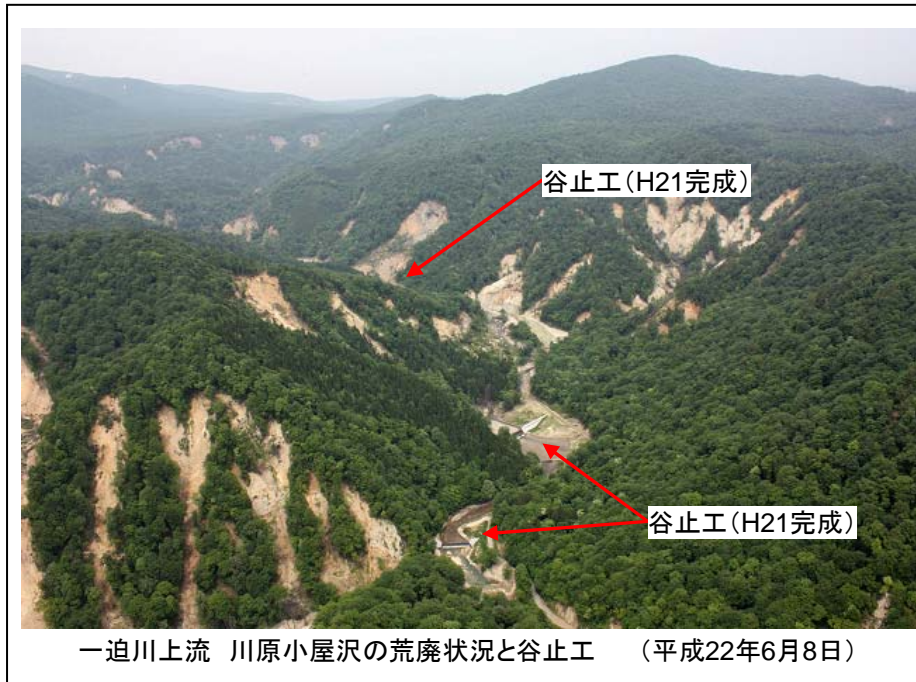
(平成20年6月)

被災地の復旧状況(溪間工)

【工事概況】

震災によって荒廃した溪流において溪床を安定させ溪岸浸食を防ぐ谷止工などにより、復旧対策を進めています。

【平成22年度の代表的な工事箇所】



被災地の復旧状況(山腹工)

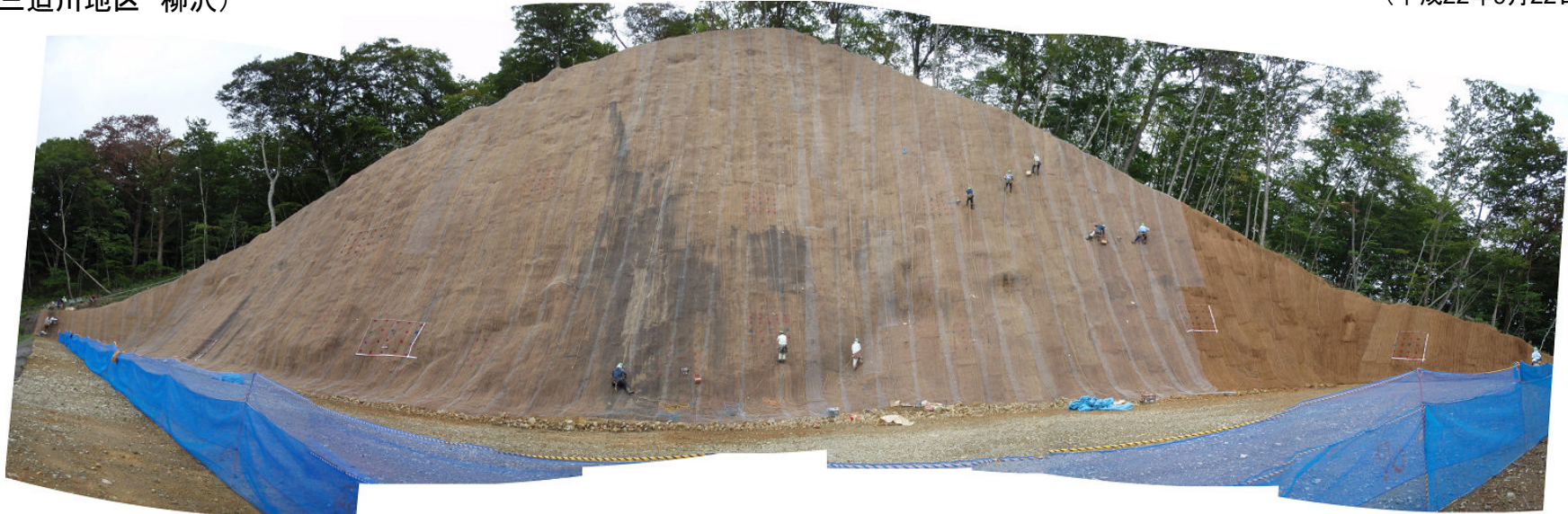
【工事概況】

震災によって荒廃した斜面の安定を図る山腹工を行っています。

【平成22年度の代表的な工事箇所】

(三迫川地区 柳沢)

(平成22年9月22日)



国道398号線に隣接する国有林野内で山腹緑化工を行っています
植生マットや金網を張り、落石を防ぎ、緑化を図ります

被災地の復旧状況(山腹工・溪間工)

【工事概況】

震災によって荒廃した斜面の安定を図る山腹工を行っています。

【平成22年度の代表的な工事箇所】

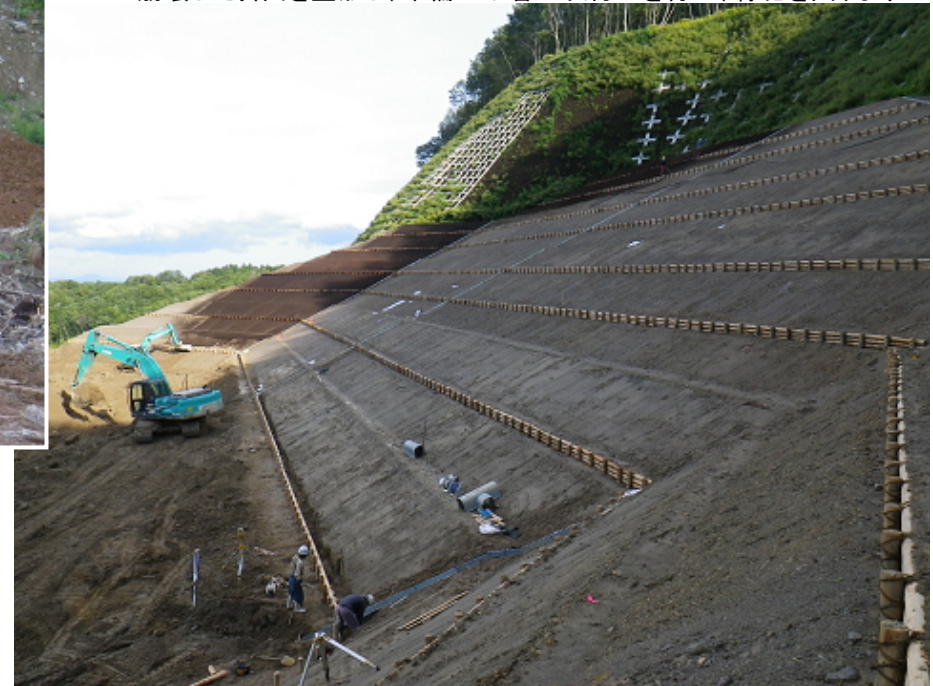
(三迫川地区 耕英 冷沢)

(平成22年9月21日)



鋼製枠谷止工の床堀を行っています

崩壊した斜面を整形し、木柵工や客土吹付工を行い、緑化を図ります



林道の復旧事業

【工事概況】

河原小屋林道について、橋梁工などにより復旧対策を進めています。

【平成22年度の工事箇所】

(河原小屋林道)

(平成22年8月2日)



新しい橋を作っています



製作工場では橋げたを仮組みしました

【平成21年度までに復旧した林道】

(岩ノ目沢林道)



(マダラ沢林道)



復旧対策実施組織と事業

- ・平成20年9月1日に宮城北部森林管理署に宮城山地災害復旧対策室を設置しました。
- ・平成21年度から迫川地区(耕英、洞万・日影森、温湯、浅布・本沢軽井沢)の民有林を対象に、民有林直轄治山事業を新規着手しました。
- ・平成21年4月1日に国有林直轄治山事業を担当する栗原治山事業所と、民有林直轄治山事業を担当する迫川治山事業所を新設しました。
- ・平成22年6月8日に、ヘリコプターにより現況調査を行いました。特段の異状は確認されませんでした。



荒砥沢地区 (平成22年6月8日)

岩手・宮城内陸地震に係る検討会等について

- ・「岩手・宮城内陸地震に係る山地災害対策検討会」の報告書等については、東北森林管理局のホームページをご覧ください。
(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/saigaijoho/kyoku/kentokai/hokokusho.html>)
- ・「岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべりにより出現した地形・景観の活用に関する検討会」の報告書等については、東北森林管理局のホームページをご覧ください。(http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/saigaijoho/kyoku/h22_kentokai_hokokusho.html)
- ・栗原市主催の「栗駒山麓崩壊地・景観活用検討委員会」に宮城北部森林管理署長が委員として出席しています。平成22年7月30日に第2回委員会が開催されました。

その他

- ・平成22年9月17日に県道築館栗駒公園線の通行規制が、9月18日に国道398号線の通行規制が解除されました。なお、引き続き、その周辺にあるほとんどの林道等は進入禁止としていますのでご注意ください。